



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社北日本銀行 上場取引所 東  
コード番号 8551 URL <https://www.kitagin.co.jp/>  
代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 石塚 恭路  
問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高橋 学 (TEL) 019-653-1111  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
特定取引勘定設置の有無 無  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	21,571	22.9	3,378	△8.7	2,213	△12.9
2023年3月期第3四半期	17,548	2.2	3,701	10.4	2,543	11.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,672百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △2,839百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	262.70	261.68
2023年3月期第3四半期	302.93	301.21

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,520,301	80,465	5.3
2023年3月期	1,495,481	75,270	5.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 80,398百万円 2023年3月期 75,147百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2024年3月期	—	30.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,300	11.3	3,600	2.9	2,300	△13.5	272.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	8,793,776株	2023年3月期	8,793,776株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	354,258株	2023年3月期	390,385株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	8,426,874株	2023年3月期3Q	8,394,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 6
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	P. 6
2024年3月期 第3四半期決算説明資料 .....	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期(2023年4月1日～2023年12月31日)の経常収益は、リース関連収入や株式等売却益が増加したことなどから、前年同四半期比4,023百万円増加して21,571百万円となりました。

経常費用は、国債等債券売却損や営業経費が増加したことなどから、前年同四半期比4,347百万円増加して18,193百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同四半期比323百万円減少の3,378百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比330百万円減少の2,213百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

預金残高(譲渡性預金含む)は、個人預金、法人預金及び公金・金融機関預金が増加したことなどから、前連結会計年度末比244億円増加して1兆4,272億円となりました。

貸出金残高は、住宅ローン及び事業性貸出金が増加したことなどから、前連結会計年度末比313億円増加して1兆647億円となりました。

有価証券残高については、国内外の投資環境や市場動向に留意した取り組みの結果、前連結会計年度末比453億円減少して2,797億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想については、2023年11月10日公表の数値から変更はございません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	90,158	132,441
コールローン及び買入手形	1,070	—
買入金銭債権	172	142
商品有価証券	93	64
金銭の信託	10,176	10,642
有価証券	325,070	279,767
貸出金	1,033,474	1,064,788
外国為替	1,135	1,592
リース債権及びリース投資資産	9,430	9,310
その他資産	12,379	10,547
有形固定資産	14,896	14,679
無形固定資産	1,049	1,301
退職給付に係る資産	1,690	1,748
繰延税金資産	805	139
支払承諾見返	2,521	2,325
貸倒引当金	△8,645	△9,190
資産の部合計	1,495,481	1,520,301
<b>負債の部</b>		
預金	1,399,762	1,424,252
譲渡性預金	3,000	3,000
借入金	1,730	1,421
その他負債	8,940	4,050
賞与引当金	349	89
役員賞与引当金	20	—
退職給付に係る負債	1,657	1,666
役員退職慰労引当金	2	3
睡眠預金払戻損失引当金	46	44
ポイント引当金	8	8
繰延税金負債	—	847
再評価に係る繰延税金負債	2,171	2,126
支払承諾	2,521	2,325
負債の部合計	1,420,211	1,439,835
<b>純資産の部</b>		
資本金	7,761	7,761
資本剰余金	4,989	4,989
利益剰余金	54,296	56,109
自己株式	△913	△828
株主資本合計	66,133	68,031
その他有価証券評価差額金	3,914	7,408
土地再評価差額金	4,771	4,666
退職給付に係る調整累計額	327	291
その他の包括利益累計額合計	9,014	12,367
新株予約権	122	66
純資産の部合計	75,270	80,465
負債及び純資産の部合計	1,495,481	1,520,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
経常収益	17,548	21,571
資金運用収益	12,013	12,727
(うち貸出金利息)	9,184	9,331
(うち有価証券利息配当金)	2,593	3,227
役務取引等収益	2,103	2,044
その他業務収益	2,947	3,744
その他経常収益	483	3,055
経常費用	13,846	18,193
資金調達費用	92	80
(うち預金利息)	83	68
役務取引等費用	1,591	1,534
その他業務費用	2,832	5,634
営業経費	8,994	9,812
その他経常費用	336	1,131
経常利益	3,701	3,378
特別利益	7	2
固定資産処分益	7	2
特別損失	34	170
固定資産処分損	34	20
減損損失	—	150
税金等調整前四半期純利益	3,674	3,210
法人税、住民税及び事業税	1,131	996
法人税等合計	1,131	996
四半期純利益	2,543	2,213
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,543	2,213

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,543	2,213
その他の包括利益	△5,382	3,458
その他有価証券評価差額金	△5,364	3,494
退職給付に係る調整額	△18	△35
四半期包括利益	△2,839	5,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,839	5,672

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

## 2024年3月期 第3四半期決算説明資料

### 1.損益状況【単体】

- **経常収益**は、有価証券利息配当金及び株式等売却益が増加したことなどから、前年同四半期比3,011百万円増加の17,933百万円となりました。
- **業務粗利益**は、国債等債券損益が減少したことなどから、前年同四半期比1,372百万円減少の10,666百万円となりました。
- **実質業務純益**は、業務粗利益の減少や物件費が増加したことなどから、前年同四半期比2,194百万円減少の1,086百万円となりました。
- **経常利益**は、株式等関係損益が増加したものの、実質業務純益の減少や与信費用が増加したことなどから、前年同四半期比247百万円減少の3,351百万円となり、**四半期純利益**は、前年同四半期比284百万円減少の2,230百万円となりました。
- なお、2024年3月期第3四半期累計期間業績予想比進捗率は、経常収益が81.8%、経常利益が95.7%、四半期純利益が101.3%と順調に推移しておりますが、今後の経費支払及び与信費用発生の可能性も考慮し、業績予想については2023年11月10日公表の数値から変更はございません。

(単位：百万円)

	当四半期 24年3月期 第3四半期累計期間		前年同四半期 23年3月期 第3四半期 累計期間	24年3月期 通期 業績予想値 (12ヶ月間)	<参考> 23年3月期 実績 (12ヶ月)
		増減			
<b>経常収益</b>	17,933	3,011	14,922	21,900	20,006
<b>業務粗利益</b>	<b>10,666</b>	<b>△ 1,372</b>	<b>12,038</b>		<b>15,666</b>
資金利益	12,772	683	12,089		16,042
役務取引等利益	63	△ 9	72		236
その他業務利益	△ 2,168	△ 2,045	△ 123		△ 612
うち国債等債券損益	△ 2,182	△ 2,022	△ 160		△ 654
経費(除く臨時処理分)(△)	9,580	822	8,758		11,761
うち人件費(△)	4,630	40	4,590		6,071
うち物件費(△)	4,327	714	3,613		4,919
<b>実質業務純益</b> ※1	<b>1,086</b>	<b>△ 2,194</b>	<b>3,280</b>		<b>3,905</b>
<b>コア業務純益</b> ※2	<b>3,268</b>	<b>△ 172</b>	<b>3,440</b>	<b>3,700</b>	<b>4,559</b>
除く投資信託解約損益	3,029	△ 411	3,440		4,560
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	185	185	—		982
業務純益	900	△ 2,380	3,280		2,922
臨時損益	2,451	2,133	318		375
うち不良債権処理額(△) ②	496	491	5		△ 15
うち貸倒引当金戻入益 ③	—	△ 139	139		—
うち償却債権取立益 ④	29	1	28		50
うち株式等関係損益	2,109	2,205	△ 96		△ 36
<b>経常利益</b>	<b>3,351</b>	<b>△ 247</b>	<b>3,598</b>	<b>3,500</b>	<b>3,298</b>
特別損益	△ 168	△ 142	△ 26		△ 53
税引前四半期(当期)純利益	3,182	△ 390	3,572		3,244
法人税等(△)	951	△ 106	1,057		668
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>2,230</b>	<b>△ 284</b>	<b>2,514</b>	<b>2,200</b>	<b>2,576</b>
実質与信費用(△) (=①+②-③-④)	653	816	△ 163		917

※1 実質業務純益 = 業務粗利益 - 経費      ※2 コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

※ 上記業績予想につきましては、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2.預金、貸出金等の残高【単体】

- ▶ 当四半期末の**預金残高**は、個人預金、法人預金及び公金・金融機関が減少したため、預金残高全体（譲渡性預金含む）では前年同四半期末比118億円減少の1兆4,289億円となりました。
- ▶ **預かり資産残高**は、生命保険残高が増加したため、前年同四半期末比33億円増加の1,169億円となりました。
- ▶ **貸出金残高**は、住宅ローン及び事業性貸出金が増加したため、前年同四半期末比379億円増加の1兆727億円となりました。

### (1)預金残高

(単位：百万円)

	2023年12月末 (A)	2022年12月末 (B)	増減 (A) - (B)	2023年3月末
預金総額（譲渡性預金含む）	1,428,952	1,440,769	△ 11,817	1,404,519
預金	1,425,952	1,437,769	△ 11,817	1,401,519
個人預金	1,029,644	1,035,262	△ 5,618	1,023,852
法人預金	357,784	361,324	△ 3,540	353,516
公金・金融機関	38,524	41,182	△ 2,658	24,151
譲渡性預金	3,000	3,000	0	3,000

### (2)預かり資産残高

(単位：百万円)

	2023年12月末 (A)	2022年12月末 (B)	増減 (A) - (B)	2023年3月末
生保・投信預かり残高	116,964	113,649	3,315	113,967
生命保険	88,742	83,996	4,746	84,291
うち個人年金保険	13,223	8,871	4,352	9,007
投資信託残高	28,222	29,653	△ 1,431	29,675

(参考)

国債等預かり残高	12,306	12,935	△ 629	13,085
----------	--------	--------	-------	--------

※生命保険は「有効契約の保険料残高(平準払保険を除く)」を記載しております。

### (3)貸出金残高

(単位：百万円)

	2023年12月末 (A)	2022年12月末 (B)	増減 (A) - (B)	2023年3月末
貸出金総額	1,072,742	1,034,773	37,969	1,041,421
事業性貸出金	508,816	497,714	11,102	499,370
個人ローン	501,468	470,640	30,828	477,566
住宅ローン	473,485	442,508	30,977	449,289
その他ローン	27,982	28,132	△ 150	28,277
地公体貸出	62,457	66,418	△ 3,961	64,484

### 3. リスク管理債権及び金融再生法開示債権の状況【単体】

➤ 当四半期末の金融再生法開示債権は、前年同四半期末比576百万円増加し19,126百万円となりました。また、総与信に占める割合は、前年同四半期末比0.01%低下して1.76%となりました。

(単位：百万円)

	2023年12月末	2022年12月末	2023年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,354	6,396	6,202
危険債権	9,459	9,526	9,595
要管理債権	3,312	2,627	3,474
三月以上延滞債権	88	297	91
貸出条件緩和債権	3,223	2,329	3,383
合計(A)	19,126	18,550	19,273
正常債権	1,064,561	1,025,134	1,031,900
総与信額(B)	1,083,688	1,043,685	1,051,173
総与信に占める割合(A)/(B)	1.76%	1.77%	1.83%

(注) 1. 算定方法については、当行の定める「資産の自己査定基準」に基づき、2023年12月末時点で実施した資産査定結果による債務者区分を前提としております。

2. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

※ 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権	実質破綻先、破綻先の債権
危険債権	破綻懸念先の債権
要管理債権	要注意先のうち、元本又は利息の支払いが3ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

### 4. 自己資本比率(国内基準)【単体・連結】

➤ 当四半期末の自己資本比率は、単体が前年同四半期末比0.02%低下し8.64%、連結が前年同四半期末比0.02%低下し8.90%となりました。

(単位：百万円)

	2023年12月末		2022年12月末		2023年3月末	
	単体	連結	単体	連結	単体	連結
自己資本比率	8.64%	8.90%	8.66%	8.92%	8.60%	8.87%
自己資本の額	67,698	70,237	65,494	67,956	65,639	68,195
リスク・アセット等	782,783	788,425	755,438	761,340	762,876	768,737
総所要自己資本額	31,311	31,537	30,217	30,453	30,515	30,749

## 5.有価証券の状況【単体】

- > 当四半期末の有価証券残高は前年同四半期末比506億円減少し、2,807億円となりました。  
 > 当四半期末のその他有価証券の評価差額は、前年同四半期末比10,011百万円増加し、10,761百万円の評価差益となりました。

### (1) 有価証券残高

(単位：百万円)

	2023年12月末 (A)	2022年12月末 (B)	増減 (A) - (B)	2023年3月末
有価証券残高	280,728	331,404	△ 50,676	326,032
国債	17,459	55,641	△ 38,182	47,925
地方債	104,463	113,568	△ 9,105	113,385
社債	26,953	40,037	△ 13,084	39,174
株式	23,026	21,232	1,794	21,284
その他の証券	108,825	100,924	7,901	104,262

### (2) 時価のある有価証券の評価差額

(単位：百万円)

	2023年12月末			2022年12月末			2023年3月末		
	評価差額			評価差額			評価差額		
		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損
その他有価証券	<b>10,761</b>	13,628	2,867	<b>750</b>	9,173	8,422	<b>5,110</b>	10,428	5,318
株式	<b>7,328</b>	7,642	314	<b>4,151</b>	5,138	986	<b>5,149</b>	5,784	635
債券	<b>△ 951</b>	494	1,446	<b>△ 3,688</b>	762	4,451	<b>△ 1,706</b>	925	2,632
その他	<b>4,384</b>	5,491	1,106	<b>287</b>	3,272	2,984	<b>1,666</b>	3,717	2,050

(注)2023年12月末の「評価差額」は、2023年12月末時点の帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。